

20高虫防第86号
平成20年12月25日

各関係機関長 様

高知県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について

病害虫発生予察特殊報第2号を送付します。

平成20年度病害虫発生予察特殊報第2号

平成20年12月25日

高知県病害虫防除所長

1. 病害虫名 アカオビアザミウマ
 学名：*Selenothrips nubrocinctus* Giard
2. 発生物種 グアバ
3. 特殊報発令の根拠 本県初確認であり、県内で栽培されるマンゴー等熱帯果樹類での被害が懸念されるため
4. 発生確認の経過
 (1) 平成20年7月、香美市の家庭菜園の施設グアバにおいて、果実の表面が灰色～褐色に艶なく変色する症状が発生し、その果実表面に数頭のアザミウマが確認された。
 (2) 高知県農業技術センターで同定したところ、これまで本県では発生のなかったアカオビアザミウマであることが確認された。
 (3) 現在のところ、本県で発生が確認されたのは同市の1施設のみで、それ以外での発生確認の情報は無い。
 (4) 本種はアジア、アフリカ、南北アメリカ等の熱帯から亜熱帯にかけて、世界的に広く分布しており、寄主範囲も広い。カカオやマンゴー、アボカド等多くの熱帯果樹類に被害を及ぼし、日本でも沖縄県及び鹿児島県奄美地方、東京都小笠原村のマンゴー栽培地帯で被害が報告されている。
5. 形態
 成虫の体長は、雌が約1.2mmで雄は雌より小型であるが、形態はほぼ同じである。体色は暗褐色ないし黒色をしており、鮮明ではないが腹節の3節めまでと先端部に赤い縁取りがある(図1)。幼虫は黄白色か黄色で、腹部第1～2節と先端部が鮮やかな赤色である(図2)。蛹も幼虫と同様の体色及び赤色の帯状の模様があり、形態的な特徴となっている。

6. 被害状況

- (1) 本虫は多くの植物の葉や果実を食害する。食害を受けた葉は艶がなくなり灰色～暗褐色に変色したり変形し、ひどい場合は落葉する。果実表面も灰色～褐色に変色して艶がなくなる症状が生じ、著しく商品価値を損なう(図3)。

7. 防除対策

- (1) グアバでは、本種に対する登録農薬はないが、バンジロウツノエグリヒメハマキに登録のあるアクタラ顆粒水溶剤が有効と思われる。
- (2) 苗木からの持ち込みを防ぐため、寄生の有無をよく確認し、寄生が疑われる場合は使用しない。また、他の熱帯果樹類など寄生の恐れのある植物を施設内へ持ち込まないように留意する。
- (3) 施設開口部への防虫ネット被覆など耕種的防除もあわせて行う。



図1 アカオピアザミウマ成虫



図2 アカオピアザミウマ幼虫



図3 グアバ果実の被害